

「兄弟姉妹の愛」

皆さん、こんにちは。今日は「兄弟姉妹の愛」という題目で説教を致します。はじめに、聖書を拝読致します。

よこしまな人は悪を企てる、そのくちびるには激しい火のようなものがある。

偽る者は争いを起し、つげ口する者は親しい友を離れさせる。

しえたげる者はその隣り人をいざない、これを良くない道に導く。

めくばせする者は悪を計り、くちびるを縮める者は悪事をなし遂げる。

しらがは栄えの冠である、正しく生きることによってそれが得られる。

怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は城を攻め取る者にまさる。

旧約聖書：箴言 16 章 27～32 節

新年度で迎える新しい環境

春は、私達の身の周りの環境が大きく変わる季節です。新しく中学生になる人、高校生になる人、また大学生や専門学生、社会人になっていく人もいます。また、学年が一つ上がり、クラス替えなどで周囲の人間関係も大きく変化する時期でもあります。ウキウキドキドキする気持ちもあるかもしれませんが、緊張や心配の気持ちもあることかと思います。周囲の全体がそんな雰囲気に含まれる中かもしれませんが、皆さん、ぜひ確かな心情と信念の軸を持って新しい環境で頑張っていきましょう。

自分のリモコンは自分が握る

以前、成和学生会の新入生入校式で、ある父母会長のお父さんが新入生へ応援のメッセージを送りました。その時のメッセージが、非常に印象的でした。

「皆さん、早く大人になりたいと思っていますか？若い時は、自分で物事を決定することのできる大人に早くなって、自由になりたい！という風に思うこともあるかもしれませんが。でも残念ながら皆さんはまだ子供です。大人になる階段を今まさにのぼっているところです。」
「では、“大人”とは、どんな人のことを言うのだと思いますか？」

このように成和学生たちに語りかけ、質問をしたのです。皆さんはどう思いますか？“大人”とはどんな人のことをイメージしますか？その父母会長さんは続けました。

「私達は誰もが自分の行動を自分に指示するためのリモコンを持っているのだと思います。「大人」とは、その自分のリモコンを人に渡さず、自分でしっかり持っている人のことを言います。」

「私達は毎日を生きて、人から色々な評価を受けたり思うようにならない時、イライラしたり落ち込んだりするでしょう。本当は自分はそんな状態にはなりたくないのに、そうになってしまう。それはつまり、自分の行動のリモコンを、自分以外の誰かに握られている状態だ、ということです。誰かが私のリモコンを握って、イライラボタンを押せばイライラさせられてしまう、落ち込みボタンを押せば落ち込ませられてしまう、そんな状態です。」

「また、人の目を気にして自分の言葉や行動を決めてしまうこともあるでしょう。人に合わせて誰かの悪口を言ってしまうたり…。それも、自分のリモコンを相手に握られてしまっています。」

「自分のリモコンを誰かに握られてしまう、それはまだ子供です。皆さんは、自分のリモコンをどんな時でも自分で握ってられる、立派な“大人”になってください。」

この父母会長さんのメッセージを考えてみる時、皆さん、自分の生活を振り返ってみると、自分はどれ位“大人”だったでしょうか。

特に私達は、神の子女として、真の父母様が歩まれたように神様を中心として生きる、というところに、自分の考えや行動の軸を置くことに挑戦していくが大切です。

友人関係を築く

それでは、友人関係を築くにおいて、どのようにしたら良いか、お父様のみ言から学んでみましょう。

皆さんが真なる友達と言うならば、真なる友達とはどんな友達かということです。十人の友達がいて、その中でいちばんの真なる友達はだれか？かき分けてみれば、十人のためにより犠牲になろうという人です。自分の利益を追求せず、十人の利益を自分の利益よりもっと尊重視しながら、一日の生活から一年の生活を通じて、青春時代から老年時代まで友達のために一生をそのように生きるという人が、友達の中の真なる友達にならざるをえないのです。

真なる友達と言えば、真なる友達とはどんな人か？今日、普通人間たちが願う心と反対の立場で、自分を懐かしがってくれ、自分に接することのできる人です。普通、人はいいいものがあると、自分のものと言いますが、いいものがあればその友達のために「これはおまえのだ」と言える友達であってこそ真なる友達ということです。全部反対です。「おいしいものがあれば、自分が食べる」と言うのが、普通の人ですが、「おいしいものは、おまえが食べろ」と言える人、世の中の普通の人なら「悲しいものは、おまえのもの、いいものは私のもの」こう言うだろうけれど「悲しいものは、私のもの、いいものは、おまえのもの」と言える人がいい人なのです。

『二世の道』 p.183

友人関係を築く時、普通は、お父様が仰るように、自分に合う人なのかどうか、ということを中心に考えて付き合っていくことが多いと思います。しかし、為に生きるという、神様を中心とした友人関係は、「相手のために自分が何をしてあげられるか」という、自分以上に相手を思いやる関係なのです。

皆さん、難しいことかもしれませんが、ぜひ「相手のために」という思いを持って、新しい友人関係を築いていく努力をしてみましょう。

また、お父様はよりよい人と友人になりなさいという風に仰っています。

皆さんが友達とつきあおうとするときには、発展できる友達か、そうでなければ希望のない友達かということが問題になります。希望のない友達と関係を結べば結ぶほど、自分にだんだん無価値な結果が現れるしかありません。それゆえ、よりましな友達と関係を結び、よりましな明日のために準備し、努力すべきなのです。

信仰生活において、ある問題に対したり、あるいは、ある事件に遭ったとき、これが自分に歓迎する立場で現れるか、そうでなければ恐れとして現れるか、という問題を皆さんは、いつも心の善や、あるいは心の基準を中心として、比較検討しなければならないのです。

もし、ある友達がやって来て、信仰の道において問題となることを中心として言うようになれば、彼の言葉を初めて聞く場では、その言葉に自分の本心が和動し、自分の本心が平穩に和合するかということをいつも分析して批判すべきです。

『二世の道』 p.185

私達は、神の子女として、親なる神様を中心として一つの家族のような世界を築く、という夢を持っています。それはとても志の高い夢です。そのような夢のために、私自身の人生の目標を持つならば、その目標もまた、志の高いものでしょう。また、内面においても、心から人のことを思いやることができるという、神様や真の父母様に似た人格を築いていくことを目指しています。

皆さんの周りには色々な人がいると思います。スポーツが好きな人、勉強が好きな人、ゲームやアニメが好きな人、異性や恋愛に関心が強い人、思いやりのある人、人の悪いところを批判する人、無気力的な人……。『類は友を呼ぶ』、『あなたの友達を見れば、あなたの人柄がわかる』という言葉があります。

人は人から多くの影響を受けます。あなたが友達とする人は、あなたに良い影響を与え、時には悪い影響も与えるでしょう。

勉強が嫌いで勉強しない人と一緒にいれば、自然と勉強しない習慣になっていくでしょう。人の悪いところをすぐ口に出す人と一緒にいれば、一緒にそのような言葉を言うようになっていくでしょう。

反対に、弁護士になる！というような高い目標を持って勉強を頑張る人と一緒にいれば、自分も勉強を頑張るようになっていくでしょう。

人の良い所を褒めて喜ぶ人と一緒にいれば、自分もそのような目を持って人を褒めるようになっていくでしょう。

みなさん、ぜひ志や目標を高く持つ人、人を思いやれる人、そのような人との友人環境を築いてください。

自分の本心、良心に確認しながら、賢い友人関係の環境を築くよう、努力していきましょう。

言葉に分別力を持つ

また、人間関係を築く上で、必ず出てくるのが自分の中にある墮落性です。苦手な人を愛せない、人を妬む、誰かの陰口を言う、そのようなものが墮落性です。墮落性を持って私達を引っ張っていかこうとするサタンに負けないようにしなければなりません。お父様のみ言を訓読します。

皆さんは言葉を瞬時に語りますが、その一言を間違えると、それが一年間も影響するのです。一瞬に間違った言葉を、一年間もかけて清算するようになるということです。

『真の愛の生活信条 愛天愛人愛国』 p.60

人の仲を裂き、ひそひそと「誰々は悪く、誰々はどうでこうで……」と言うことがありますが、それはサタンの武器です。「あの人は、こうだ」と評価するのはサタンです。聞いても知らないふりをする人と、おしゃべりで騒ぎ立てる人のうち、どちらの側がサタン側ですか。おしゃべりで、騒ぎ立てる人がサタン側です。

『真の愛の生活信条 愛天愛人愛国』 pp.61～62

サタンの作戦はいつも「分裂作戦」です。サタンは、アダムとエバとの関係を裂き、神様とアダム・エバとの関係を裂き、神様と万物世界との関係を裂きました。

分裂させる恰好の武器が、悪口や陰口です。そのような言葉を絶対に使わないように、口から出す言葉に注意しましょう。反対に、真のお母様は言われます。「許し、愛し、団結しなさい」、「ウリヌンハナダ：私達是一つだ」と。一つになろうとするのが、神様の作戦なのです。

冒頭の聖句のように、「怒りをおそくする者は勇士にまさり、自分の心を治める者は城を攻め取る者にまさる」のです。

そのようにして、先ほど述べた「志や目標を高く持つ人」「人を思いやれる人」に、私達自身がなっていくことが大切です。そして、周囲の友達に良い影響を与えていきましょう

最後に、聖書を拝読して、説教を終わります。

しかし今は、これらいっさいのことを捨て、怒り、憤り、悪意、そしり、口から出る恥すべき言葉を、捨ててしまいなさい。^{たがい}互にうそを言ってはならない。あなたがたは、古き人をその行いと一緒に脱ぎ捨て、造り主のかたちに従って新しくされ、真の知識に至る新しき人を着たのである。そこには、もはやギリシヤ人^{じん}とユダヤ人^{じん}、割礼と無割礼、未開の人、スクテヤ人^{びと}、奴隷、自由人の差別はない。キリストがすべてであり、すべてのもののうちにいますのである。だから、あなたがたは、神に選ばれた者、聖なる、愛されている者であるから、あわれみの心、慈愛、謙そん、柔和、寛容を身に着けなさい。^{たがい}互に忍びあい、もし^{たがい}互に責むべきことがあれば、ゆるし合いなさい。主もあなたがたをゆるして下さったのだから、そのように、あなたがたもゆるし合いなさい。これらいっさいのものの上に、愛を加えなさい。愛は、すべてを完全に結ぶ帯である。

(新約聖書：コロサイ人への手紙 3 章 8～14 節)

今日は、「兄弟姉妹の愛」という題で説教を致しました。以上で説教を終わります。ありがとうございました。